テクニカル インストラクション シート

特徴•適用範囲

アケミクリスタルはスチレンモノマー溶解の不飽和ポリエステル樹脂・UV安定の 無色透明・液体接着剤で次の特徴があります。

- 無色であるため主に明るい色や透明水晶天然石に適している
- 硬化に時間をかけることにより収縮が少ないため角・へりの補修に適している
- 硬化後、研磨することで美しい光沢が得られる
- 天然石に優れた接着力がある
- 水・ガソリン・石油に耐久性がある

本剤は主に次のような特に明るい色や純白・透明水晶天然石の充填・接着に用いられます。

例) タソス、カララ、シマメノウ、パリサンドロなど

使用方法

- 1十分な接着力を得るために、接着・充填する面をきれいに洗浄し乾燥させて下さい。
- 2着色する場合は硬化剤と撹拌する前に最大5%まで着色ペーストを添加して下さい。
- 3 アケミ主剤100 g に対し1~2 g の硬化剤Bリキッド(約35~70滴) を加え十分に撹拌の上ご使用下さい。
- ※ 混合比上限 主剤:硬化剤=100:2(重量%)
- ※ 約12~16分以内に作業を終えて下さい。
- ※ 約12時間後には次の工程に取り掛かれるだけの強度に達します。
- ※ 硬化速度は温度によって変化します。この数値は20度の場合です。

特別ヒント

- 手を保護するには、AKEMI LIQUID GLOVE (アケミ水性手袋)をお使い下さい。
- 本剤は硬化剤Bリキッドを使って硬化します。
- 硬化剤が2%を超える硬化部分は、多かれ少なかれ色落ちする可能性があります。
- 硬化剤1%未満で5℃以下の低温度で作業すると硬化にかなり時間がかかります。
- 断続的に高温度(50度以上)にさらされると色落ちや接着力低下を引き起こす可能性があります。
- 湿気や霜に常時さらされている接着面は耐久性が軽減されます。
- コンクリートやコンクリートブロックのようなアルカリ性の建物の物質に適度な粘着力があります
- 一硬化した本剤は少々黄色みを帯びる傾向があります。
- 本剤は一旦硬化すると、溶剤による除去は不可能です。機械を用いて除去するか、 高温(200℃以上)で除去して下さい。
- 使用手順を適切に守られて硬化した本剤は通例健康に害はありません。

安全基準安全データシートをご覧下さい。

技術データ

色 無色透明

濃度 1.12-1.18 g/c m³

作業時間

a) 20℃での作業時間(分) b) 1.5%の硬化剤での作業時間(分)

1%の硬化剤: 20-24 1.5%の硬化剤: 16-20 2%の硬化剤: 12-16 20°C: 35-40 20°C: 16-20 30°C: 7-10

引張強度 DIN 53455 50 N/m㎡ 曲げ強度 DIN 53452 80 N/m㎡ 圧縮強度 DIN 53454 1600 N/m㎡ E-MODULE(E測定基準) 3700 N/m㎡

保持期限 約1年。霜を寄せ付けないひんやりとした場所でもともとの容器で完全に 密閉された場合。

注意

上記の資料は実装テストに基ずくもので諸条件により異なる場合があります。 AKEMIテクニカル・インフォメーションは参考文献ですので、使用前には必ず商品の 試験を行って下さい。

使用後に製品によって生じた結果や環境悪化等の影響に関して弊社は一切責任を負いません。